

平成23年度第1回鳥取県日野地区連携・共同協議会 会議概要 ver. 1.6

日時：平成23年5月30日（月）午後2時から3時30分まで

場所：日野総合事務所大会議室

出席：江府町長、日南町長、日野町長、
地域づくり支援局長、行財政改革局長、日野総合事務所長ほか

1 あいさつ（要旨）

（竹内会長）

- ・23年度は物事を実施していくスタート。特にお願いしたいのは、協議の協議をいつまでもしてはいけないと思う。協議をし、実施をする。実施をした結果については見直しをしっかりとやるということで、行政もがんばっているなど、郡民の皆様に理解をしていただく。また地域でやっていくことに広がっていくよう繋げていきたい。「実施していく」という信念のもとに議論を進めさせていただければと思う。

2 会議録署名委員の指名

竹内会長が「日野町の景山町長」及び「日南町の増原町長」2名を指名。

3 報告

- （1）各チーム事業の実施状況及び平成23年度事業計画の報告について
事務局の高田事務長から資料により説明。

4 議事

- （1）第1号議案「平成22年度決算の承認（案）について」
- （2）第2号議案「道路維持・除雪に係る連携共同化骨子及び施策（案）について」
- （3）第3号議案「日野郡のあるべき監査委員事務局を目指して（案）について」
事務局の高田事務長及び各部長、森本県土整備局長から資料等により説明。
（各議案承認。）

5 意見概要

<障がい者雇用>

（竹内会長）

- ・江府町では今年度「菜種」の栽培について、笠原大地に遊休農地が5.7haほどあり、何とかこれを結びつけて景観とか環境も併せて、結果「菜種」が取ればそれを供給して行って、本来の商品づくりに労働力も増えたり、商品流通ができたりすれば、二石、三石になるのではと思いついて、今計画を始めているところ。
- ・普及所から、栽培地に隣接する大根に影響がでないかという御指摘をいただいたため、空地を作り、大根の生産地と「菜種」の生産地に間を空けて4ha程度の「菜種」を播種していきたいというふうに思っております。
- ・10アールあたり80キロほどの結構な「菜種」が供給できた場合は、施設も活用していただいて雇用が出て、採られたものが商品流通して活性化に繋がればいいと思います。

（景山町長）

- ・安定して「菜種」の元が供給できるということになれば、搾油する施設のほうは、障害者自立支援法の適用を受けた黒坂の「おしどり作業所」があり、既に施設整備をしております。
- ・そこで働く障がい者の方が試験的に今までやってきて、色々まだクリアすべき課題はありますが、雇用が必ず定着してくるというふうに思っております。

- ・できましたらそこで搾油した日野の「菜種油」を全国に向けて出荷していきたいので、値段は少し高くなると思いますが、本当に安心・安全な油になるのではと思いますので、クリアすべき点をクリアして定着させたいと思います。

(岡崎地域づくり支援局長)

- ・主な意見の中に「農家生産者が求める農作業と、施設側が行える農作業に開きがある。」とありますが、具体的にはどういうことでしょうか。

(山形総務課長)

- ・実際作業をやっていただく方で見守りが出てくると、こういう方がいて欲しいというところがあります。担い手農家の皆様と話し合いを持ちながら何ができるか意見交換をしていって、本当に受託可能な作業等を検討してまいりたいと考えております。

<発達支援>

(岡崎地域づくり支援局長)

- ・年間スケジュールの中で具体的に県と福祉の連携と、保健と福祉と教育の連携と、具体的なツールは何を考えておられますか。

(門脇福祉保健局長)

- ・具体的なツールについて、県の発達障がい者支援センター「エール」と各町、保育園と、今2回ほど勉強会をしています。具体的なモデルとしては倉吉のほうで使っております乳幼児の発達の指標がございます。それを多少加工した格好で使えないかということで今検討をしています。

<庶務チーム>

(岡崎地域づくり支援局長)

- ・研修の関係です。この研修をきっかけとして、例えば県と町職員の皆様に研修体系と言いますか、発展を考えておられるかということをお聴きしたい。

(竹内会長)

- ・合同職員研修については、県職員にしても地元出身という方ばかりではございませんし、日野郡3町の職員もわが町はわかっても、日野郡3町全体のことはなかなかわからないという中で、課題を掘り出してそれを解決することにしっかりと向かっていく、言わば政策的なものやっていくという研修に展開していきたいと私自身責任者として思っているところでございます。

<重点項目：道路維持・除雪等>

(増原町長)

- ・広域的なセンターについては時期尚早であり、私の考えとは違うと思います。
- ・広域的なセンターを目指すより、まず地域住民のために道路行政や維持管理をしっかりやった後、センター化の議論はしたほうが良いと思います。
- ・住民にとって町道とか県道であるという管理区分は関係なく、町に一本化された場合は、住民に対して素早い対応ができるので県道の維持と除雪が町にいくというのは、非常に良いことで県から町が委託を受けるのは前向きに検討していくべきだと思います。
- ・委託料の問題、単価の問題等はあっても県から町が委託を受けることは前向きに考えていくべきだと思います。

(景山町長)

- ・大変方向としては良いだろうと思います。県から町への委託対象となる県道に「主要地方道」も含むのでしょうか。
→含みます。(説明：森本県土整備局長)

- ・道路の維持とはどういうことでしょうか。
 - 定義は、パトロール（巡視）、草刈や除草、ラインや防護策の修繕、排水関係の清掃など。
 - ネットワークを形成する主要な町道について、今後管理すべき基準等を議論していくことが必要。
 - 住民の皆様にとってより良い維持管理を目指すことが必要。（以上、説明：森本県土整備局長）
- ・広域的なセンターについては、まず除雪から入ってみると大体の姿が見えてくると思いますので、23年度は除雪から取り組むのが良いのではと思います。

（竹内会長）

- ・各町長さんの意見を受けまして、まずはできることからきちんとやろうと思います。
 - 23年度から除雪を実施します。住民の皆様喜んでいただけるよう、除雪の優先度を考えたり、情報提供（除雪状況）や連絡の部分も重点を置きながら進めるべきと思います。
- ・24年度は、しっかり議論を詰めて維持管理を具体的にやっていきます。
- ・広域的なセンター化については、除雪や維持管理の実績を踏まえ、将来的な人材不足等への対応など、目標を示し次のステップでしっかりと議論を行います。

（増原町長）

- ・地元の建設業協会の方も非常に期待をしています。先般日南町の総会では、除雪のほうは日南町では先行してやっておりますので非常に建設業としても、やはり何とか雇用を確保したいという面では一生懸命やってくれています。
- ・道路維持のほうも、ただ単に住民の生活を守るだけではなくて、雇用とか地場産業を守るとかいう意味からしてもやはり地域としても大きな期待を持っているということをつけ加えさせていただきまして、より進めていきたいというふうに思います。

<重点項目：監査>

（増原町長）

- ・各町の監査委員が、監査実態（各町の定期監査等）を見るべきです。
 - 協議会だけで動くのではなく、監査委員自体が動き、問題意識や改革をしていただきレベルアップをする必要があります。
- ・事務局を作ったからといって、監査がうまくいくものではないと思います。

（景山町長）

- ・監査は重要だと認識しています。現状では日野郡3町に温度差があるのは当然です。
- ・地域主権改革による自治法改正（共同設置）の背景があるので、今後は取り組む必要性が高い。
- ・幅広く鳥取県西部で考えるより、日野郡3町が適正な監査をしていく体制ができればと思います。
- ・協議会と監査委員との意見交換をしながら、実現に向けて取り組むべき課題であると思います。

（岡崎地域づくり支援局長）

- ・県の代表監査委員と意見交換を行い、監査の重要性と充実を図るべきことや、3町独特の取り組みについては、見直しをしながら、3町ともにレベルアップするやり方を考えることで委員と意見が一致したことを報告します。県の監査委員と一緒に議論をしていきたいと思います。
- ・中部の場合も監査委員共同化の議論が進み、規約案や運営方法などの検討を行っているところ、県としても支援をしていきたいと思います。

（竹内会長）

- ・各町の監査委員の情報交換が必要であり、お世話をする事務局の設置にも繋がると思います。
- ・目指す方向は同じ。積極的に対応していく方向で進めていきます。

<日野高校>

(竹内会長)

- ・日野高校について、日野郡は少子化や、米子のほうに進学する傾向が強い現状があること、高校のあり方について、県の今後の議論が、どうなるだろうかということについて、県教育長のところへ3町長が伺い次のとおり要望しました。
 - 何とか日野郡に日野高校を残して欲しい。
 - 日野郡の子が進学をどんどんするような内容の学科等を検討して欲しい。

<公共事業の入札制度等>

(竹内会長)

- ・除雪、維持管理を含め日野郡内の建設業者等が受注できる公共事業（大型事業等）が減少し、県の発注方法が鳥取県西部を一本としたやり方という中で、さらに厳しい状況です。
- ・地元の建設業者を雇用の場所、併せて除雪、災害、その他においては、大きな尽力になってきていますので、これがいよいよ衰退していつては困ります。
- ・先般県土整備部長のところへ行き、こういった日野郡の業者が置かれている状況を説明。入札制度の検討等について、前向きな協議をしていただくよう要望しました。

<わかあゆ教室>

(景山町長)

- ・不登校児童の対応策として、学校に行くことができない子どもを、根雨の「わかあゆ教室」に集めて支援をしています。
- ・県の補助も受けながら3町でお金を出し合って運営をしていますが、これが今年度限りで、県のほうの助成を廃止するという方向が出ているような状況です。
- ・非常に少子化が進み、日野郡も子どもの数が年々減少しています。是非この制度はもう少し考えていただきたいと思います。

(岡崎地域づくり支援局長)

- ・よく教育委員会に聴いてみます。

<日南町アニメ>

(増原町長)

- ・一点、PRを兼ねてです。スタジオディーンという日南町出身のアニメ会社代表の方が、私費を投げ出して鳥取県西部を題材としたアニメを作り、6月26日に完成発表会として、知事とのフォーラムも予定しています。
- ・美術館のほうでは展示をしており、そういうふうなことで一つ日野郡というふうなものを、アニメを使った振興というものを図っていきたいと思っています。

<観光関係>

(景山町長)

- ・日野町地内の日野川でのラフティングについて、漁業権の関係で、2年ぐらい前水産振興局長にお願いをして、管理者の立場で考えてもらいたいと、実際漁協の組合長さんにも入っていただいて、色々話をさせていただきました。
- ・その話では、鮎の漁期にはなかなか入ることができないと、いわゆる鮎かけの業関係者とのトラブルを懸念されまして、私としては、特定の期間をそのラフティング期間ということで決めていただいて、夏場もさせていただけるよう、県のほうに調整等をお願いできたらと思います。
- ・交流人口を増やすという意味と日野郡の自然を全国の人に発信をしたいと、金持ちになりたい人は金持神社にお参りされますが、健康ですばらしい自然の中で楽しみたいという方には是非ラフティングをということで、日野郡に来ていただきたいという気持ちです。

(岡崎地域づくり支援局長)

- ・この前もその話をさせていただいて、水産振興局長にも話をしましたが、また話をしておきます。

<地域集落関係についての意見交換会の開催>

(岡崎地域づくり支援局長)

- ・また別途お話を伺いたいと思っておりますが、日野郡内の人口が本当に減ってきています。これから5年、10年の人口推計、20年の人口推計を見たくないようなくらいの減りかたになるような感じがしています。
- ・そこで3町さんは合併をしなかったということもあって、本当に独立心、また気概や誇りを持ってやっておられますので、地域集落の維持と申しますか、活性化と申しますか、あと地域の保全と申しますか、そのあたりのことについて、意見交換をさせていただきたいなというふうに思っておりますのでどうぞよろしく申し上げます。

(竹内会長)

- ・局長さんおっしゃった件につきましては、日程調整をいただきまして、実態を含めてお話させていただきたいと思っております。